



## PACIFIC CARGUY RACING

### 2021 AUTOBACS SUPER GT Round5 SUGO GT 300km RACE REPORT

カテゴリー	:GT300クラス
エントラント名	:PACIFIC CARGUY Racing
マシン名	:PACIFIC NAC CARGUY Ferrari
カーナンバー	:9
タイヤ	:ヨコハマタイヤ
ドライバー	:木村武史、ケイ・コッツォリーノ
レースクイーン	:Pacific Fairies
開催日	:2021年9月11日-12日
会場	:スポーツランドSUGO(一周3.586km)
天候	:11日 ☁(Dry) 12日 ☀(Dry)
気温	:11日 23℃ 12日 28℃
路面温度	:11日 30℃ 12日 44℃
参戦車両数	:GT500/15台 GT300/28台 合計43台
Best Lap	:1:18.331
Q1 Bグループ	:6位
Q2	:16位
決勝	:15位

## PACIFIC NAC CARGUY Ferrari

2年振りに魔物が牙をむいたRd.5菅生。  
波乱のレースを無事に完走し、15位フィニッシュ。

### 事前情報

昨年のスポーツランドSUGOでのレースは、新型コロナウイルスの影響によって開催されなかった為、今回のレース開催は2年振りとなった。

スポーツランドSUGOのレーシングコースは幅が10m～12.5mと狭く、最終コーナーからホームストレートにかけての急勾配が特徴である。また、“菅生には魔物が棲む”と言われるように、雨や霧によるレース中断や、他のコースではありえないようなトラブルが発生してきた。その為、今年のSUPERGTも折り返しとなるRd.5菅生は様々な意味で注目される大会となった。

前回の鈴鹿戦で4位という結果を残したPACIFIC CARGUY Racingは36kgのサクセスウエイトを搭載しての走行。ドライバーには前回に引き続きケイ選手。そして3戦振りに復帰した木村選手のコンビで3連続入賞を目指した。

### 公式予選:Q1 Bグループ



2021.9.11

14:48-14:58

ドライバー :ケイ・コッツォリーノ

気温 :24℃

路面温度 :27℃

順位 :Bグループ6位

Best Lap :1:18.331

Lap数 :3Lap

走行距離 :10.758km

#### ■5分間のペナルティも物ともせず6番手でフィニッシュ。Q2へ繋ぐ。

練習走行ではアクシデントによりテストメニューを全てこなすことができなかったものの、10番手のタイムを記録したPACIFIC CARGUY Racing。しかしペナルティを受けている為、Q1は開始5分後にコースインとなった。Q1ドライバーはケイ選手。巻き返しを図る為に、ケイ選手の手腕に望みを託す。チームの想いに応えるように、2周目で渾身のアタックを仕掛ける。1:18.331という今レースのチームベストタイムを叩き出し、6番手でフィニッシュ。見事その実力を見せつけ、Q2進出へ繋げた。



## 公式予選:Q2



2021.9.11

15:23-15:33

ドライバー :木村武史

気温 :23℃

路面温度 :30℃

順位 :16位

Best Lap :1:20.397

Lap数 :5Lap

走行距離 :17.93km

### ■好調な走りを見せるも16番手でフィニッシュ。

気温23℃/路面温度30℃、路面温度が少し上昇したコンディション。Q2ドライバーは3戦振りに復帰した木村選手。2周かけてウォームアップをし、順調にタイムを縮めていく。そして3周目でアタックを仕掛け、1:20.397をマークし、16位でチェッカーとなった。

## 決勝

2021.9.12

14:48-16:38

第1スティント :木村武史

第2スティント :ケイ・コッツォリーノ

気温 :28℃

路面温度 :44℃

順位 :15位

Best Lap :1:21.677

Lap数 :77Lap

走行距離 :276.122km



真っ青な空が広がった決勝日。気温 / 路面温度は28℃/44℃と、前日とは異なるコンディションとなった。13時30分、フォーメーションラップがスタート。本来フォーメーションラップは2週の予定だったが、隊列が揃わず 1周追加。代わりに決勝の周回数を1周減とし83周となった。第1スティントは木村選手。18番グリッドからの出走となる。順位を守りながら快調な走りを見せ、24周目でピットイン。タイヤ交換を済ませ、ケイ選手へ交代。じわじわと順位を上げていくが、ここで菅生の魔物が牙をむく。45周目の最終コーナー付近で出火した車両が出たため、SC(セーフティカー)が導入される。このSCで車両の距離が縮まることとなり、ピットインを行っていないチームにとっては厳しい状況となった。その後51周目にレースがリスタートし、即座に順位を上げ 16番手へ。しかし64周目に停車車両が出たことでFCYが掲示。アクシデントが続出する波乱なレースとなったが、ケイ選手は順位を守り続け、16番手でフィニッシュ。正式結果ではペナルティにより降格した車両が出たため、最終結果は15位となった。

## COMMENT



### 総監督 神野元樹

「今回のレースでも貴重なポイントを獲得することが出来ました。チーム作りも仕上がってきていますし、マシンバランスも良かったです。得られたデータも多く、新たな課題も見えたレースでした。次回のオートポリスまでにしっかりと準備して臨みます。応援有難う御座いました。」



### 木村武史

「練習走行ではアクシデントを起こしてしまいましたが、マシンを復活させてくれたチームには感謝しています。厳しい予選になるかと思いましたが、6位でQ1突破したケイ選手の力走には感激でした。3戦振りとなったSUPER GTのレースでしたが、チームが一つになれていることを実感しています。次回のオートポリスでも、チーム一丸となって上位を狙っていきますので、応援よろしくお願いします。」



### ケイ・コッツォリーノ

「今回はチームとドライバー共にFerrari 488 GT3を菅生で走らせるのは初めてでしたが、走り始めから好調な滑り出しでした。無事Q1を突破することもできましたし、決勝でも良いペースで走ることができました。今回のレースで得た貴重なデータをもとに次回のオートポリスで上位狙っていきます。」

## PARTNERS






## SPONSORS


























